

第9回 GX 実行会議

令和5年11月28日

中部電力株式会社
代表取締役会長
勝野 哲

GX投資促進策について

➤ 「技術の選択と集中」の時系列最適化

- ◆ 対象とする技術を最初から選別するのではなく、初めは要件を満たすものを幅広く対象とし、時間とともに市場動向と進捗評価に応じて対象とする技術を見直し、重点化することが肝要

エネルギー分野の投資戦略について

➤ 火力発電の重要性

- ◆ 我が国の安定供給確保のためには、電力の需給変動に対応するための火力発電が不可欠
⇒ 脱炭素化に向け、エネルギー事業者として水素・アンモニアの導入、CCUSの活用に取り組むが、民間事業者だけでは取り切れないリスクや価格差の補填、国内外でのサプライチェーン構築に向けた支援、CCUSの事業環境整備が必要

➤ 原子力発電の活用

- ◆ 我が国のエネルギーの安定供給・安全保障を確保しつつ、成長と排出削減を両立するため、再エネとあわせて原子力発電を最大限活用することが必要
⇒ 電気事業者として、早期再稼働と安全性の追求に取り組むが、次世代革新炉の開発・建設への支援、原子力事業の予見性を高めるための事業環境整備（投資促進、バックエンドプロセス加速化、適正な原子力損害賠償）が必要

COP28について

➤ 現実的な道筋と実践的なソリューションで世界へ貢献

- ◆ カーボンニュートラル実現という最終的な目標達成のための現実的な道筋としてトランジションへの投資が必要

⇒ 欧米と国情が異なる我が国・アジアでは、成長、安定供給と排出削減の3つの同時実現のため、再エネと原子力の活用とあわせて低・脱炭素化された火力発電が必須であり、**需要側（産業・暮らし関連部門）**※だけでなく、**供給側（エネルギー転換部門）**における**水素・アンモニアの導入こそが実践的なソリューション**

※ 需要側（産業・暮らし関連部門）における電化と水素・アンモニアの利活用も重要

- ◆ 現実的な道筋と実践的なソリューションで世界へ貢献する**我が国のスタンスを自信と説得力をもってアピール**することが重要

我が国のGX推進について

➤ GXの推進は産業政策そのものであり、経済安全保障にもつながる

- ◆ グローバルなサプライチェーンの中で**戦略的不可欠性、戦略的自律性を高める**ことが重要
- ◆ 官民の投資が、我が国の**モノづくり自給率の向上**や国内での**資源循環を促進し、国富の蓄積**や**国民の豊かさにつながる仕組みづくり**が必要